



平成 21 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名 日本エスリード株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 荒牧 杉夫
コ ー ド 番 号 8877 東証第一部・大証第一部
問 合 せ 先 取締役管理本部長 井上 祐造
(TEL. 06-6345-1880)

平成 22 年 3 月期（連結・個別）業績予想の修正等並びに役員報酬の減額に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 5 月 15 日付「平成 21 年 3 月期 決算短信」にて公表いたしました平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）及び通期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想の修正（平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）

（1）連結業績予想

（単位：百万円）

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	13,000	△600	△800	△500	△32 円 40 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	9,482	△471	△681	△410	△26 円 59 銭
差 額 (B-A)	△3,517	128	118	89	—
差 額 率 (%)	△27.1	—	—	—	—
前年同期実績（平成 21 年 3 月期第 2 四半期）	14,665	62	△103	△243	△15 円 80 銭

（2）個別業績予想

（単位：百万円）

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	12,500	△750	△1,000	△600	△38 円 88 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	8,783	△636	△848	△507	△32 円 92 銭
差 額 (B-A)	△3,716	113	151	92	—
差 額 率 (%)	△29.7	—	—	—	—

2. 平成 22 年 3 月期通期の業績予想の修正（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

（1）連結業績予想

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	29,000	1,700	1,200	700	45円36銭
今回修正予想（B）	26,500	1,100	650	400	25円92銭
増減額（B－A）	△2,500	△600	△550	△300	－
増減率（％）	△8.6	△35.3	△45.8	△42.9	－
前期実績（平成 21 年 3 月期）	30,316	△2,249	△742	△975	△63円23銭

（2）個別業績予想

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	27,500	1,400	900	500	32円40銭
今回修正予想（B）	25,000	800	300	200	12円96銭
増減額（B－A）	△2,500	△600	△600	△300	－
増減率（％）	△9.1	△42.9	△66.7	△60.0	－
前期実績（平成 21 年 3 月期）	29,041	△2,600	△1,103	△1,178	△76円33銭

（1）連結業績予想修正の理由

当社グループの属する不動産業界におきましては、国際的な金融危機に端を発した急激な景気減速から企業業績悪化による設備投資の減少、雇用環境の悪化、所得の低迷に起因する個人消費の落ち込み等により、当社グループを取り巻く経営環境は厳しい事業環境のなかで推移してまいりました。

このような状況のもと、当第 2 四半期累計期間におきましては、地価・建築費の高騰により事業の収益性が悪化する一方で、昨年からの急激な景気悪化及び将来不安に伴う購入者の購入意欲の冷え込みにより買い控え傾向が依然として続いたことから、販売期間が長期化するなど、期初予想以上に市況が悪化したことにより、誠に遺憾ながら、連結売上高は 94 億 82 百万円、利益面では、マンション販売に係る販売経費が当初計画を下回ったこと、販売費及び一般管理費の削減を実施したこと等から、連結営業損失は 4 億 71 百万円、連結経常損失は 6 億 81 百万円、連結四半期純損失は 4 億 10 百万円となりました。

また、通期におきましても第 2 四半期累計期間と同様に、この厳しい販売環境が今しばらく続くものと想定し、現状において不確実な収益を見込まずに計画を保守的に見直したことから、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回発表予想を下回る見通しとなりましたので、業績予想を修正いたしました。

（2）個別業績予想修正の理由

個別業績予想数値の修正の理由は、連結業績予想数値の修正の理由と同様の内容であります。

3. 役員報酬の減額について

平成 22 年 3 月期業績予想の修正を真摯に受け止め、経営責任を明確化するために、以下の通り、平成 21 年 10 月までとしていた当社役員報酬の減額を継続実施いたします。

(1) 取締役報酬減額の内容

代表取締役：月額報酬額の 30%を減額

専務取締役：月額報酬額の 20%を減額

常務取締役：月額報酬額の 15%を減額

取締役：月額報酬額の 10%を減額

(2) 対象期間

平成 21 年 11 月から平成 22 年 4 月まで

※本資料記載の業績予想に関しましては、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。今後、様々な要因によって、実際の業績が大きく異なる可能性があります。

以 上